



JAPAN ACCOUNTING ASSOCIATION

日本会計研究学会 第79回大会

2020年
9月3日(木)～6日(日)

統一論題テーマ

会計思考の継承と発展



北海道大学



北星学園大学

大会準備委員長　ご挨拶

日本会計研究学会会員各位

日本会計研究学会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年初頭から世界に拡大しました新型コロナウイルス（COVID-19）の影響は、大学等研究機関における研究・教育活動に多大な影響を与えております。それは学会活動におきましても例外ではありません。本年度の日本会計研究学会第79回大会は、北海道大学と北星学園大学の共催により、北星学園大学を主たる開催場所として開催する予定とし準備をして参りました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、大学キャンパスを会場とした学会開催は困難な状況となり、理事会のご理解を得て、本大会はWEB開催とすることになりました。

日本会計研究学会のWEB開催は、いうまでもなく史上初めてのことであり、準備委員会といたしましても、試行錯誤の中での開催準備となりました。このため、多くの点で至らぬ点があるかと存じますが、平にご容赦願いたく存じます。また、特別委員会報告ならびにスタディグループ報告、および予定しておりました一部の統一論題会場につきましては、現下の状況の中で予定通りの研究を進めることができないことから、来年度の第80回大会において行われることとなりました。

しかしながら、本年度の大会は、統一テーマ「会計思考の継承と発展」の下、統一論題4会場、国際セッション、ASBJセッション、そして多くの自由論題報告が予定されております。異例の状況下にもかかわらず、大会の開催に

至ることができましたのは、本大会で組織されましたにプログラム委員会のご尽力に依るところが大きいと考えております。委員長の佐藤信彦先生（熊本学園大学）をはじめとしたプログラム委員会の先生方には、厚く御礼申し上げます。

本大会の統一テーマは、本大会が四半世紀ぶりに北海道で開催されますことから、過去を踏まえて新たな会計研究の道筋を見据える機会としたいという意識の下に設定されました。会員の皆様と札幌の地でお目にかかることができませんことは、大変残念でございますが、大会では多彩な研究報告を踏まえた活発な議論が行われることと存じます。

会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり多大なご支援とご協力をいただきました日本会計研究学会会員、役員の先生方および関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

2020年7月20日

日本会計研究学会第79回大会準備委員会

委員長 吉見 宏（北海道大学）

委員 大原 昌明 松本 康一郎（北星学園大学）
米山 祐司 久保 淳司
春日部 光紀 櫻田 譲
篠田 朝也 岡野 泰樹（北海道大学）
檜山 純（札幌学院大学）
吉見 明希（北海道情報大学）

プログラム委員会委員長 ご挨拶

日本会計研究学会第79回大会プログラム委員会を代表し、委員長として、一言ご挨拶を申し上げます。

第79回大会の開催を北海道大学および北星学園大学にお引き受けいただくにあたり、準備委員会からプログラム委員会の設置が要請されました。このプログラム委員会は、中部大学が開催した第72回大会のときに平松一夫委員長の下に初めて設置されたものですが、そのとき定められた内規に拠ると、委員長は理事の中から選出することになっていることから、徳賀会長の指名により、私が委員長を務めることとなりました。

第72回大会の時も、2日目の豪雨により3日目以降の大会の継続が危ぶまれ、中止について検討するというアクシデントに見舞われましたが、第79回大会も、新型コロナウイルスの感染拡大というアクシデントの影響で、当初に予定していたプログラムからは、さまざまな点で変更を余儀なくされました。懇親会の中止もその一つですが、何よりも、学会としては当然のこととして受け止められていた一堂に会しての対面による意見交換等ができなくなり、WEB会議システムを利用したオンラインですべての会議や報告を実施せざるをえなくなったことが、最大の変更点です。

そのため、会員の皆様には、この変更に対応していただかなくてはならなくなり、特に、統一論題の司会・座長や報告者、自由論題の司会や報告者などには、オンラインでの報告や司会をお願いすることとなりました。そのため、大学図書館の一時閉鎖など、研究環境が十分ではない状況で原稿をおまとめいただいたにもかかわらず、完成原稿をご提出いただいた自由論題の報告者から、ご報告を辞退される方が出てしまったことについて、衷心よりお詫びした

いと存じます。

とはいえ、現地まで移動することなく、研究室や自宅に居ながら会議や討論・質疑に参加できることが今回の大会で証明できそうです。そうすると、学会運営の在り方なども、これから変わっていくことが予想されます。学会運営や大会開催が、会員の皆様にとってより参加しやすい効率的な在り方に変化する嚆矢に、この第79回大会なることを期待できるものと思料いたします。

上述のとおり、さまざまな困難がプログラムの確定までにごさいましたが、幸いにも、プログラム委員会委員として、有能かつ誠実な素晴らしい方々に就任していただき、そのご協力を得ることができました。また、委員ではないにもかかわらず会議に参加していただきご協力くださった方々もいらっしゃいます。それらの皆様のお力添えをいただいたおかげで、なんとかプログラムを確定することができました。司会等をお引き受けいただいた方々を含め、ご協力いただいたすべての方々に、この場を借りて感謝申し上げる次第です。

末筆となり恐縮ですが、今回のプログラムが会員の皆様にとりまして有意義なものとなることを祈念いたしまして、プログラム委員会委員長としてのご挨拶とさせていただきます。

2020年7月20日

日本会計研究学会第79回大会プログラム委員会

委員長 佐藤 信彦

委員 梅原 秀継 木村 晃久 篠田 朝也
中村 博之 林 隆敏 吉見 宏

協力者 小川 淳平 小阪 敬志

参加登録手続き

- 1 本大会参加費は2,000円です。必ず、事前の参加登録をお願いいたします(当日参加はございません)。なお、本大会は、ウェブ会議システム Zoom を利用したオンライン開催となりますので、この点ご了承ください。また、自由論題と統一論題の報告者の報告資料については、事前にオンデマンド資料として大会ウェブサイトで公開いたしますので、参加者の皆様には事前にオンデマンド資料を閲覧いただいたうえで、学会当日は主に討論を中心に行う形式で進めさせていただきます。
- 2 会員の事前申込みといたしまして、ウェブサイト上の「参加登録システム」による参加登録と参加費決済をお願いしています。

事前参加登録期日(参加費支払期日):

一次締切 8月18日(火)

最終締切 9月 3日(木)

大会へのご参加は、上記の参加登録及び参加費の決済をもって確認させていただきます。お手続きをいただけないと、当日のweb会議のミーティングID(Zoom利用)、オンデマンド資料の閲覧方法などのご連絡ができかねますので、期日厳守をお願いいたします。

日本会計研究学会第79回大会

参加登録システム

<https://va.apollon.nta.co.jp/kaikei2020/>

このシステムでの情報の入力画面はSSLによる
セキュリティ措置を講じております。

- 3 「参加登録システム」に入り、「新規利用登録」をクリックしてください。「お客様の個人情報の取扱いについて」をお読みになられたうえで「承諾する」をクリックし、代表者個人情報を入力してください。その後、「参加登録」ボタンより登録・支払をお済ませください。
- 4 本大会参加費の領収証は会期終了後、メールにてお送りさせていただきます。一度お支払いいただいた金銭については払い戻し致しかねますので、ご承知おきください。また、領収証の郵送での送付は承っておりませんので、予めご了承ください。
- 5 本大会の各報告は、日本公認会計士協会の継続的専門研修制度における CPE 認定研修の申請中です。詳細は大会ウェブサイトでお知らせいたします。
- 6 本大会にかかわる情報については、大会ウェブサイト (<http://jaa2020.net/>) をご確認ください。お問い合わせは、大会準備委員会宛てに E メール(裏表紙参照)にてお願いいたします。

目 次

大会全体スケジュール	1
------------------	---

理事会・評議員会・会員総会等スケジュール	3
----------------------------	---

大会第1日目 9月5日(土)

国際セッション	4
---------------	---

自由論題報告Ⅰ	5
---------------	---

自由論題報告Ⅱ	6
---------------	---

自由論題報告Ⅲ	8
---------------	---

自由論題報告Ⅳ	9
---------------	---

統一論題報告・討論(統一論題報告Ⅰ・Ⅱ)	11
----------------------------	----

大会第2日目 9月6日(日)

自由論題報告Ⅴ	12
---------------	----

自由論題報告Ⅵ	13
---------------	----

自由論題報告Ⅶ	15
---------------	----

統一論題報告・討論(統一論題報告Ⅲ・Ⅳ)	17
----------------------------	----

ASBJ セッション	18
------------------	----

大会全体スケジュール

第1日目 9月5日(土)

午前の部

9:00～12:00 **国際セッション** (第4会場)

9:00～10:00 **自由論題報告Ⅰ** (第1会場・第2会場・第3会場)

10:20～11:20 **自由論題報告Ⅱ** (第1会場・第2会場・第3会場)

11:40～12:40 **自由論題報告Ⅲ** (第1会場・第2会場・第3会場)

【昼食休憩】

午後の部

13:40～14:40 **自由論題報告Ⅳ** (第1会場・第2会場・第3会場)

15:00～16:30 **統一論題報告・討論**

統一論題報告Ⅰ (第1会場)

「非財務情報と統合報告」

(八木 裕之 座長)

統一論題報告Ⅱ (第2会場)

「北海道から考える会計」

(戸田 龍介 座長)

※自由論題報告、統一論題報告の報告資料はオンデマンド資料として事前に大会ウェブサイトで閲覧していただけます。当日は討論を中心に行いますので、参加者の皆様は事前に報告資料をご覧いただいて当日の大会にご参加ください。(オンデマンド資料の閲覧方法については、参加登録システムに登録後、改めてお知らせいたします。)

※国際セッション、自由論題報告、統一論題報告は、すべてweb会議システム Zoom により実施いたします。ZoomのミーティングIDなどは、後日お知らせいたします。

第2日目 9月6日(日)

午前の部

9:00～10:00 自由論題報告Ⅴ (第1会場・第2会場・第3会場)

10:20～11:20 自由論題報告Ⅵ (第1会場・第2会場・第3会場)

11:40～12:40 自由論題報告Ⅶ (第1会場・第2会場・第3会場)

【昼食休憩】

午後の部

13:40～15:10 統一論題報告・討論

統一論題報告Ⅲ (第1会場)

「基礎概念と会計思考の継承」

(梅原 秀継 座長)

統一論題報告Ⅳ (第2会場)

「人的資源の会計」

(中野 誠 座長)

15:30～17:10 ASBJ セッション

※自由論題報告、統一論題報告の報告資料はオンデマンド資料として事前に大会ウェブサイトで閲覧いただけます。当日は討論を中心に行いますので、参加者の皆様は事前に報告資料をご覧いただき当日の大会にご参加ください。(オンデマンド資料の閲覧方法については、参加登録システムに登録後、改めてお知らせいたします。)

※自由論題報告、統一論題報告、ASBJ セッションは、すべてweb会議システム Zoom により実施いたします。Zoom のミーティング ID などは、後日お知らせいたします。

理事会・評議員会・会員総会等 スケジュール

9月3日(木)

14:00～16:00 理 事 会

9月4日(金)

10:00～12:00 評議員会

13:00～14:30 会員総会

※理事会、評議員会、会員総会は、すべて web 会議システム Zoom により実施いたします。Zoom のミーティング ID などは、後日お知らせいたします。

大会詳細スケジュール

第1日目 9月5日(土)

国際セッション 9:00～12:00〔予定〕

第4会場

(報告時間 各15分 質疑応答 各10分〔予定〕)

- 日本会計研究学会からの報告

The Effects of Client Bargaining Power on Audit
Pricing in Voluntary and Involuntary Audit
Switching Environment

Frendy (Nagoya University of Commerce and Business)

Fumiko Takeda (The University of Tokyo)

他、韓国会計学会、台湾会計学会からの
招待報告者による報告(予定)

※学会間の覚書に基づいた、韓国会計学会・台湾会計学会からの
招待報告者を含む、英語による研究報告会場です。詳細は、大
会 web サイトをご覧ください。

自由論題報告 I

第1会場～第3会場

報告(1) 9:00～9:20

報告(2) 9:20～9:40

報告(3) 9:40～10:00

(報告時間 各5分間 質疑応答 各15分)

第1会場

司会者：太田 浩司(関西大学)

(1) リキャップCB実施のアナウンスメント効果

積 惟美(亜細亜大学)

塚原 慎(帝京大学)

寺嶋 康二(千葉商科大学)

(2) アナリスト・レポート、株価、および名声追求

小谷 学(熊本学園大学)

(3) 期待倒産確率を考慮した

インプライド自己資本コストの推定

竹原 均(早稲田大学)

第2会場

司会者：佐々木隆志(一橋大学)

(1) 混合測定における財務諸表の改善

陳 釗(九州大学)

(2) 資産除去債務会計における資産負債連携についての検討

生島 和樹(岩手県立大学)

(3) 財務諸表における事業活動と資金調達活動の区分

増村 紀子(兵庫県立大学)

第3会場

司会者：松尾 貴巳（神戸大学）

- (1) サービタイゼーションをふまえた管理会計の
研究課題の検討
浅石 梨沙（一橋大学）
片岡 洋人（明治大学）
- (2) 非対称情報下における政府調達契約の設計
木村 太一（慶應義塾大学）
森光 高大（西南学院大学）
- (3) 地方政府における近視眼的予算編成の規定要因：
非財務指標の重みと政治的予算循環の観点から
黒木 淳（横浜市立大学）

自由論題報告Ⅱ

第1会場～第3会場

報告(1) 10:20～10:40

報告(2) 10:40～11:00

報告(3) 11:00～11:20

（報告時間 各5分間 質疑応答 各15分）

第1会場

司会者：奥村 雅史（早稲田大学）

- (1) コストの下方硬直性に対する資本市場の評価
井上 謙仁（近畿大学）
北田 智久（近畿大学）
濱村 純平（桃山学院大学）
- (2) 条件付保守主義の尺度に関する3つのバイアス
山下 知晃（福井県立大学）
- (3) 業績予想の予測誤差に対して実績利益の
品質が与える影響
伊藤 正隆（京都産業大学）
岡部 孝好（神戸大学・名誉教授）

第2会場

司会者：鈴木 一水（神戸大学）

(1) 役員報酬におけるディスクロージャーの有用性

原 郁代（公認会計士）

(2) 交際費等損金不算入制度改正の影響

高橋 隆幸（横浜市立大学）

野間 幹晴（一橋大学）

佐藤 弘庸（KPMG 税理士法人）

(3) スtock・オプションに係る条件変更の会計処理

山下 克之（追手門大学）

第3会場

司会者：清水 信匡（早稲田大学）

(1) 中小企業における資本予算プロセスの普及実態と
その経済的帰結

牧野 功樹（釧路短期大学）

(2) 包括的成長戦略のための BSC の適用可能性

金藤 正直（法政大学）

岡 照二（関西大学）

(3) ライフサイクル・コストイングの新展開

岡野 憲治（松山大学・名誉教授）

自由論題報告Ⅲ

第1会場～第3会場

報告(1) 11:40～12:00

報告(2) 12:00～12:20

報告(3) 12:20～12:40

(報告時間 各5分間 質疑応答 各15分)

第1会場

司会者：向 伊知郎(愛知学院大学)

- (1) 電炉メーカーの財務分析
—わが国鉄鋼業の斜陽化は免れないか—
長田 芙悠子(中央学院大学)
- (2) 組織再編成功企業の財務特性
—のれんと財務特性に着目した実証分析—
奥原 貴士(四日市大学)
- (3) 経営者予想とのれん計上における予測能力
奈良 沙織(明治大学)
野間 幹晴(一橋大学)

第2会場

司会者：原 俊雄(横浜国立大学)

- (1) 分散型台帳技術の企業会計への適用に関する検討
板橋 雄大(東京経済大学)
ガルシア クレマンズ(学習院大学)
- (2) 戦時期の満洲における製紙業の減価償却
—鴨緑江製紙・六合製紙・安東造紙を事例に—
山下 修平(秀明大学)
- (3) 行列簿記の意義と変遷
—スプレッドシートの揺籃期に焦点をあてて—
磯本 光広(長崎ウエスレヤン大学)

第3会場

司会者：新江 孝(日本大学)

- (1) 組織内および組織間コントロールの二重構造
大浦 啓輔(立命館大学)
- (2) 決算早期化が財務業績へ与える影響に関する
実証研究
安酸 建二(近畿大学)
- (3) 現代フランスコントロール論の系譜：パラドックス、
ビジネスモデル、共創戦略
大下 丈平(九州大学・名誉教授)

自由論題報告Ⅳ

第1会場～第3会場

報告(1) 13:40～14:00

報告(2) 14:00～14:20

報告(3) 14:20～14:40

(報告時間 各5分間 質疑応答 各15分)

第1会場

司会者：首藤 昭信(東京大学)

- (1) 有価証券報告書における定性的情報の硬直性・
特定性・比較可能性の決定要因に関する実証研究
中島 隆広(神戸大学・院生会員)
- (2) テキストマイニングを用いた
我が国有価証券報告書の記述情報の分析
矢澤 憲一(青山学院大学)
伊藤 健顕(甲南大学)
金 鉉玉(東京経済大学)
- (3) SNS によるディスクロージャーに関する実証分析
中野 貴之(法政大学)
湯浅 大地(株式会社ビジネスサポート)

第2会場

司会者：上野 雄史（静岡県立大学）

- (1) 日本における生命保険会社の
エンベディッド・バリューの有効性について
柳田 宗彦（イオン・アリアンツ生命保険株式会社）
- (2) The value relevance of premium reserves :
Evidence from Japanese insurance companies
川崎 芙有（高千穂大学）

第3会場

司会者：松本 敏史（早稲田大学）

- (1) SCCC による企業分析と海外企業との比較検討
岸田 賢次（名古屋学院大学）

司会者：工藤 栄一郎（西南学院大学）
- (2) Survey Research on Factors that Affect Performance
in Introductory Accounting : Evidence from Japan
中島 真澄（文京学院大学）
高橋 円香（文京学院大学）

統一論題報告・討論 15:00～16:30

第1会場・第2会場

統一論題全体テーマ

『会計思考の継承と発展』

座長解題

第1報告

第2報告

第3報告

第1会場 統一論題報告Ⅰ

「非財務情報と統合報告」

座長：八木 裕之（横浜国立大学）

報告：小西 範幸（青山学院大学）

「非財務情報の開示と統合報告
—ステークホルダーと企業家機能の観点から—」

大鹿 智基（早稲田大学）

「統合報告における開示項目の検討
—実証分析からのアプローチ—」

水口 剛（高崎経済大学）

「ESG 投資の進化と統合報告」

第2会場 統一論題報告Ⅱ

「北海道から考える会計」

座長：戸田 龍介（神奈川大学）

「座長解題：継承・発展すべき会計思考について」

報告：大森 明（横浜国立大学）

「北海道から考える自然資本金
—国立公園のマネジメントを題材に—」

丸山 佳久（中央大学）

「北海道から考える森林と地域の会計」

石川 恵子（日本大学）

「北海道から考える地方自治体のサステナビリティ
—人手不足に対応したマネジメント—」

第2日目 9月6日(日)

自由論題報告V

第1会場～第3会場

報告(1) 9:00～9:20

報告(2) 9:20～9:40

報告(3) 9:40～10:00

(報告時間 各5分間 質疑応答 各15分)

第1会場

司会者：榎本 正博(神戸大学)

- (1) Power Needs Knowledge : CEO Background and Goodwill Impairment

Junjian Gu (University of Tsukuba)

Chao Chen (Fudan University)

Gerald J. Lobo (University of Houston)

- (2) What are the factors affecting earnings management to misrepresent earnings for public firms in Japan? Through a covariance structure analysis

中島 真澄(文京学院大学)

- (3) CEO のネットワーク中心性とのれんの減損計上

野間 幹晴(一橋大学)

田中 美樹(一橋大学・院生会員)

第2会場

司会者：大塚 成男(千葉大学)

- (1) 非営利組織の理事会とパフォーマンスにかんする実証研究

—公益法人を対象とした分析—

夏吉 裕貴(横浜市立大学・院生会員)

- (2) わが国における公会計財務諸表情報と地方債スプレッドとの関連性

原口 健太郎(西南学院大学)

丹波 靖博(西南学院大学)

- (3) An Analysis of Comments for the Accounting Standard Update for Revenue Recognition in Not-for-Profit Entities (Topic 958)

榎本 芳人(全国健康保険協会)

第3会場

司会者：小松 義明(大東文化大学)

- (1) 「会計監査人の公務員化」の困難性
— 公務員の責任追及事例を手がかりとして —
安達 巧(県立広島大学)
- (2) 意見不表明と監査上の主要な検討事項
山本 貴啓(立正大学)
- (3) 税理士法の書面添付制度に関する考察
— 監査保証論の枠組みに立脚して —
越智 信仁(尚美学園大学)

自由論題報告Ⅵ

第1会場～第3会場

報告(1) 10:20～10:40

報告(2) 10:40～11:00

報告(3) 11:00～11:20

(報告時間 各5分間 質疑応答 各15分)

第1会場

司会者：海老原 崇(武蔵大学)

- (1) 金融機関のベンチマーク達成を目的とした
利益調整行動
深谷 優介(神戸大学・院生会員)
- (2) 不正会計の開示による利益マネジメントの
変化に関する実証分析
尾関 規正(東北大学)
- (3) 減配と報告利益管理行動に関する実証分析
市原 啓善(小樽商科大学)

第2会場

司会者：米山 正樹（東京大学）

- (1) IFRS 第9号におけるビジネスモデル概念の役割
—歴史的な原価会計及び公正価値会計との関連性を
巡って—

首藤 洋志（文教大学）

- (2) 制度のブリコラージュ
—会計基準が作られているとき—

真田 正次（京都橘大学）

- (3) 会計基準のグローバル化に関する
分析モデルの構築

井上 定子（兵庫県立大学）

第3会場

司会者：椎葉 淳（大阪大学）

- (1) 日本企業における業績管理の変容：
過去10年の実態調査データに基づく経時的分析

榎谷 奎太（高千穂大学）

岩澤 佳太（慶應義塾大学・院生会員）

吉田 栄介（慶應義塾大学）

- (2) 管理会計研究のための組織ライフサイクルモデルの
実証的検討

森 浩気（千葉商科大学）

吉田 栄介（慶應義塾大学）

徐 智銘（Shanghai Zhongde Institute of Quality Technology）

- (3) 伝統的な業績管理会計は利益率の分散制御効果を
有するのか？

尻無濱 芳崇（神奈川大学）

小池 由美香（筑波大学・院生）

地多 祐介（筑波大学・院生）

岡田 幸彦（筑波大学）

自由論題報告Ⅶ

第1会場～第3会場

報告(1) 11:40～12:00

報告(2) 12:00～12:20

報告(3) 12:20～12:40

(報告時間 各5分間 質疑応答 各15分)

第1会場

司会者：佐久間 義浩(東北学院大学)

(1) 内部監査部門の規模が監査報酬へ与える影響

湯下 薫(神戸大学・院生会員)

(2) 買収防衛策が企業投資に与える影響

太田 裕貴(静岡産業大学)

第2会場

司会者：山地 範明(関西学院大学)

(1) 新収益認識基準が企業の会計実務に及ぼす影響：

上場企業へのアンケート調査に基づいて

塚原 慎(帝京大学)

小澤 康裕(立教大学)

中村 亮介(筑波大学)

(2) 会計主体論と連結基礎概念の関係の再検討

山下 奨(武蔵大学)

(3) 佐藤倫正による Robert Anthony の継承と 「authoritative support」の機能

竹森 一正(中部大学 名誉教授)

- (1) ファミリービジネスにおける
マネジメント・コントロール・システムの整備
—企業家精神の発揚と経営管理の公式化：
奄美大島開運酒造の事例をもとに—
飛田 努(福岡大学)
- (2) 中小企業における BCP と MCS の関係
望月 信幸(熊本県立大学)
吉川 晃史(関西学院大学)
木村 眞実(東京都市大学)
工藤 栄一郎(西南学院大学)
- (3) わが国マネジメント・コントロールにおける
経営企画部門の実態
横田 絵理(慶應義塾大学)
鬼塚 雄大(明海大学)

統一論題報告・討論 13:40～15:10

第1会場・第2会場

統一論題全体テーマ

『会計思考の継承と発展』

座長解題

第1報告

第2報告

第3報告

第1会場 統一論題報告Ⅲ

「基礎概念と会計思考の継承」

座長：梅原 秀継（明治大学）

報告：大雄 智（横浜国立大学）

「会計情報の信頼性
—価値の見積りと原価の配分—」

村宮 克彦（大阪大学）

「財務報告の目的と会計原則」

福川 裕徳（一橋大学）

「会計における不確実性と監査機能の変容」

第2会場 統一論題報告Ⅳ

「人的資源の会計」

座長：中野 誠（一橋大学）

報告：島永 和幸（神戸学院大学）

「人的資本の会計
—財務報告の視点から—」

内山 哲彦（千葉大学）

「財務・非財務尺度による
人的資産にかかわる測定・管理と価値創造」

角田 幸太郎（熊本学園大学）

「英国プロサッカークラブにおける
人的資源の財務と管理の事例分析」

「新型コロナウイルス感染症の拡散の会計基準への影響」

小賀坂 敦(企業会計基準委員会 委員長)

川西 安喜(企業会計基準委員会 副委員長)



北海道大学



北星学園大学

日本会計研究学会
第79回大会準備委員会

〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目
北海道大学大学院経済学研究院
吉見宏研究室気付

E-mail: jaa2020sapporo@gmail.com
<http://jaa2020.net/>
